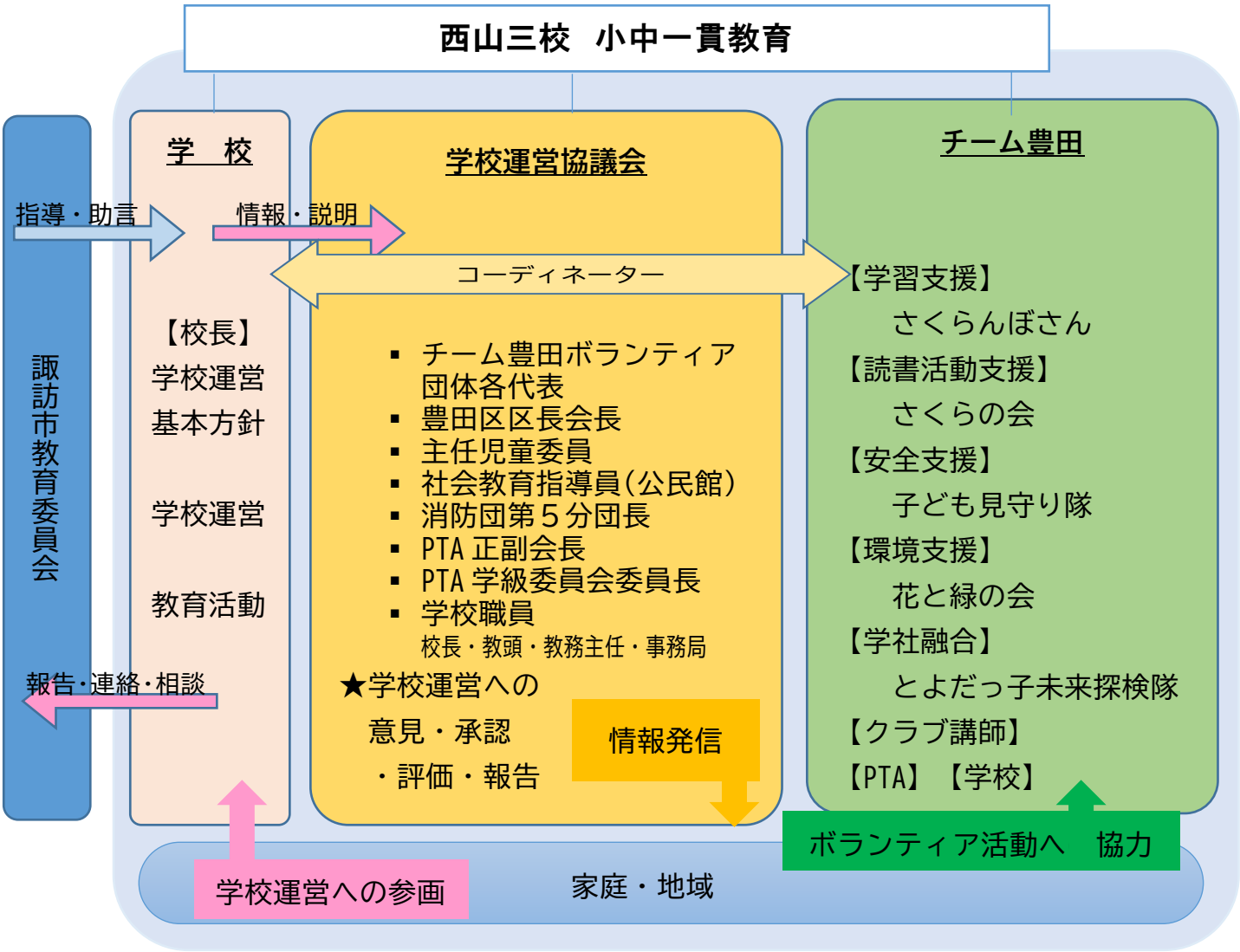
4　豊田小

1　チーム豊田 CS 運営協議会組織略図



2　学校運営協議会の歩み

	日時	内容
第１回	4 月 23 日(月) 18:30～19:30	★ 校長・事務局担当職員がかわり、新しいスタートを切るにあたって、今年度の学校運営方針、ボランティア団体の活動方針を確認した。また、職員の働き方改革に関わって、週休日の活動のあり方についても協議を行った。 ▪ 自己紹介 ▪ 学校運営方針協議 ▪ チーム豊田の活動計画 ▪ ボランティアさん募集について ▪ 職員の非違行為防止研修の紹介
第２回	8 月 27 日(水)	★ 全学級の授業を運営協議会で参観し、その後、児童の姿などから意見交換をすることができた。昔と違って講義型が減り、対話

		型で進めていたことや、先生が笑顔で親しみやすく授業を進めていたことが出され、児童を中心とした学校運営をしていく方針を再確認することが出来た。また、クーラーが教室に設置され、学習に集中しやすい環境になって良かった、電子黒板が活用されていて分かりやすいといった意見が出された。 ボランティアについて、高齢化による人数の減少や、これまでどおりの活動が難しくなっている点について協議を行った。 ▪ 参観を通して子どもの姿から ▪ 学校運営の中間報告 ▪ 来年度の学校運営に向けて協議 ▪ チーム豊田活動の中間報告 ▪ 学校評価実施計画について ▪ 職員の非違行為防止研修の報告
第 3 回	2 月 18 日(水)	★ （予定） ▪ 学校評価結果報告 ▪ 今年度の取組の成果と課題 ▪ 来年度の活動について ▪ 来年度の運営協議会メンバーについて ▪ 来年度の学校運営方針承認

3　学校・地域との連携の実際

地域で学ぶ：学校・現地・公民館・地域の施設などで
地域に学ぶ：自然・文化・歴史などに
地域と学ぶ：児童・保護者・家族・地域の方々と

今年度も、保護者とチーム豊田のボランティアの皆さんに加え、主任民生児童委員、民生児童委員、有賀林野株式会社、学校医ほか地域の皆様の大きな協力により、子ども達の安心･安全な生活と活動を支えていただいた。

西山あいさつの日

6 月 27 日に、豊田小で小中合同 CS 運営委員会を開催し、第一水曜日を「西山あいさつの日」としてあいさつ運動を展開することになった。西山三校のコーディネーターやボランティアさんが朝のあいさつに立ち、それぞれの学校の児童生徒が地域の方と顔見知りになる機会となった。

特に、小学校 6 年生にとっては、中学校に行っても慣れ親しんだ方々が校門で出迎えてくれることになり、中 1 ギャップ解消の一助となるのではないかと考えている。

コーディネーター校長教頭打合会

毎月１回、コーディネーター2名・校長・教頭が出席して、打合会を行った。豊田地区の現状についてや、学校行事のことなど、多岐にわたる情報交換やボランティアの調整等を行い、これまで以上に緊密に連携したコミュニティスクールの運営を行うことが出来た。

さくらの会

毎週木曜日を「読み聞かせの日」として、朝読書の時間に1～6年生の全学級に一人ずつ読み聞かせボランティアの方に入っていただいた。読み聞かせの内容はボランティアの方にお任せしているが、ネイティブの英語による読み聞かせや手遊びを交えた読み聞かせなど内容は多岐にわたった。また、特別な読み聞かせを12月の休み時間に企画し、パネルシアターを行い好評だった。

今年度は、12月に行った絵本作家スギヤマナカヨさんの講演会にも多くのボランティアさんが参加することが出来た。

豊田小学校では、「みんなで本を読む日」前の金曜日に図書委員による読み聞かせを行ったり、姉妹学級での読み聞かせを行ったりしている。また、中学校進学後の卒業生が、「西山ハッピータイム」として、年に１回読み聞かせに来てくれる。「さくらの会」の毎週の読み聞かせを起点に、読み聞かせは豊田小学校の文化になっている。

関連性はわからないが、全国学力調査の国語も好成績である。

花とみどりの会

「咲顔の草取り（花壇の草取り）」を5～9月の週末の土曜日朝6：15から実施することができた。今年度は5回実施でき、平均10名（ボランティア・PTA・学校職員等）ほどが参加した。地域の方やPTA、学校職員で交流しながら学校周辺を美しい環境に保つことができた。また、花壇や畑の整備・土壌改良、中庭の草刈り、木々の剪定、駐車場の整備等の環境整備を行い、児童や職員が安心して学習や活動に取り組むことができた。本校駐車場は窪みができやすく歩行や車の通行に支障をきたしているが、雨が降っても安全に通行できるよう、アスファルトの廃材を利用した補修を行っている。

また、今年度は150周年記念で作った「咲顔(えがお)の砂場」の砂が減ってきたため、砂の補充を行った。児童たちは、新しい砂が入った砂場を、生活科の学習や休み時間の活動で活発に活用した。

とよだっ子未来探検隊

春から初夏にかけては、「サツマイモ畑の整備」・「発足会」・「つり大会」・「学校でニューゲーム」と予定した活動を実施することができた。発足会では恒例のサツマイモの植え付けの他、いちご園の見学を行い、参加児童はいちご狩りを楽しんだ。秋には、「サツマイモ掘り」・「何でも BBQ 大会」を行い、自分たちで掘ったサツマイモで焼き芋をしたり、持ち寄った肉や、シカ・イノシシの肉を食べたりしながら、普段一緒に活動できる機会の少ないボランティア団体同士の交流もできた。消防団の方も参加してくださり、児童の消防車体験乗車や、火の用心呼びかけ活動も行われた。こうした良い交流の機会がもてたことは、児童だけでなく参加した保護者やボランティアの皆さんにも好評だった。

今年度はクマ出没のため「学有林の整備」「自然と遊ぼう」「有賀城址探検隊」を実施することはできなかったが、多くの活動で体験を通して学んだり、たくさんの人と関わりを持ったりする、貴重な学びの場となった。

さくらんぼさん

今年度は、1 年生の遠足（高島城址）での見守りや、2 年生の西山公園での湖南小との交流の見守りを行った。目が届きにくい広い場所での安全確保や、ボランティア同士の交流を行うことが出来た。

授業では、ミシンや縫い物の補助を行った。複数の目で丁寧な指導をすることが出来、児童の技能の向上につながった。

また、学校からの依頼を受けて、賞状の氏名書きをしたり、儀式の「次第」を書いたりした。これにより、係となっている職員の負担を減らすことができた。本校卒業生、山田梨央選手の冬季五輪激励メッセージを寄せ書きした際にも国旗に墨書して、立派な物を送ることが出来た。

子ども見守り隊

4 月 7 日から 4 月 18 日まで、新入生の付き添い下校に取り組み、始まったばかりの小学校生活を安心してスタートすることができるよう、見守ることができた。民生児童委員さんはじめ地域の方々が入学式翌日から見守りをしたことで、新入生の保護者にとっても安心感を持つことができる取組となった。また、登下校の安全見守りを毎週木曜に行い、児童の安心安全な登下校につながった。児童との挨拶にも大切に取り組み、「大人が挨拶すれば子どもたちは必ず挨拶を返してくれる」ことを機会があるごとに PTA やボランティアに伝えてきた。

クラブ講師ボランティア

今年度は、昨年度同様に「雅な日本人（生け花）」「手芸」「ペタンク」「ゲートボール」「サッカー」「手話」クラブで地域のボランティアの方々に講師をお願いした。全４回を行い、講師の先生方の工夫した計画により、児童は充実した活動に取り組み、満足していた。児童はクラブ活動の時間をとても楽しみにしており、クラブによっては、その道のプロの方が講師となっているので、児童の満足度が高まる時間となっている。児童が活動に没頭できる時間は、大変貴重である。回数は少なかったが、コツを教えてもらいながら、楽しんで体験することができた。

その他

・6 年 1 組は、総合的な学習で地域のガイドブックづくりを行い、有賀林野の印刷機を使って印刷製本を行った。
・6 年 2 組は、諏訪湖スマートインターチェンジ工事に昨年度から関わることが出来、本年度の開通式では「諏訪郡歌」を披露してきた。
・5 年 2 組は、総合的な学習で、「とよだっ子未来探検隊」から釣り竿等を借りて、地域の川で釣りをすることが出来た。
・5 年 1 組は、総合的な学習で、地域の八剣神社大祭宵祭りに、ウクレレで参加してきたり、現在、龍神の舞復活に取り組んだりしている。
・4 年生は、総合的な学習で、公民館の窯を使用して焼き物を行ったり、ガラスの里を見学したりしている。
・3 年生は、地域探検で、地域のお店や神社などを見学している。また、地域の方に教えてもらった桑の葉を使って蚕を育てたり、昔の遊びを教えてもらったり、地域のおとり寄りと交流したりしている。昨年度の 3 年生同様、地域の方からはし作りを教わった。
・職員は、夏休みのものづくり研修で、地域の工務店から木工を教わった。一人ひとり鉛筆立てを作る活動を通して、ものづくりの楽しさを学んだ

4　まとめ

（1）成果

① お二人のコーディネーターとの毎月の打合会を通して、学校や地域の状況を理解しあうことができた。学校に関わる皆さんの思いがいろいろある中で、それを調整していただいていることが大変ありがたかった。
② 地域と学ぶ（児童・保護者・家族・地域の方々と学ぶ）」点については、特に地域のボランティアの方々とのつながりを大事に考え、継続してきたことが途切れないよう意識した取組ができた。
③ ボランティアの方々の支援が行き届く環境で、児童は安心して学習活動などに取り組むことができた。2月には、児童からボランティアの方々へ手紙に感謝の気持ちを綴ってお渡しする予定。
④ 野菜の栽培活動を通して、農業や食に対する学びが深まった。

⑤ CS運営協議会に授業参観を通して、児童の姿で語り合うことができた。
⑥ 今年度は、地域の工務店が講師を務めてくださり、職員研修でものづくりを学ぶ機会を設けた。また、子どもたちも地域の文化や歴史、産業に触れることのできる学習や体験の機会を持つことができ、児童が地域への興味・関心・理解を深められる機会となった。

（２）課題・次年度に向けた展望

① 今後も毎月の打合会を継続し、コーディネーター・校長教頭の対話を大事にし、緊密な連携をとっていきたい。
② 野菜の栽培活動については、「花とみどりの会」が担ってきた畑の片付けが難しくなってきたため、学校職員と PTA と「花とみどりの会」が一緒に片付けを行う日を設定し実施できた。来年度も継続したい。
③ 地域講師については、西山三校でそれぞれにお願いしている人材がいるが、さらに各校で幅広くお願いできるように、来年度職員対象に「西山三校ものづくり研修」を行いたい。講師が何人かいると思うので、いくつかの会場・グループに分かれて体験を通して学べる機会としたいと考えている。
④ 2月18日にボランティア代表者会を開催予定。その時々の必要な支援・方法について工夫していくためにも年に一度は担当職員と話し合う場を設け、よりよいCSをつくっていきたい。そこで話し合われた改善点を次年度にいかしていきたい。